

第3節 生徒の代案提示力を育成するための授業実践2

第1項 問題の所在

公民教育で育成する市民をここでは「政治共同体の成員」として定義し、グローバリズム、ナショナリズム、ローカリズム・アイデンティティと関連させて、政治共同体への所属を考えた場合、次の3点が重要であると考ええる。

第一に、アイデンティティを外部から規定する市民としての地位である。市民のアイデンティティは、所属する政治共同体から付与される地位によって規定される部分がある。政治共同体における地位として代表的なものとして国籍（ナショナリズム）があるが、マーストリヒト条約によって定められる欧州市民権などもある。地位に基づき市民に与えられる権利には、市民的権利、政治的権利、社会的権利がある。

第二に、アイデンティティを内部から規定する市民としての所属感覚である。市民は、当該の政治的共同体に実際に地位を有しているか否かに関わらず、その共同体への所属感覚を持つことができる。従来、アイデンティティ概念は、変わることはない本質を持った一貫性が前提とされていたが、近年、アイデンティティは流動的であり、変容することが指摘されている（上野 2005）。本単元では外国人労働者の受け入れ、あるいは外国人労働者としての経験を通して、どのように受け入れ側や外国人労働者のアイデンティティが流動的に変容するかに注目する。

第三に、私的な領域に属する個人（ローカリズム）と公的な領域に属する市民の関係である。アイデンティティは個人レベルで感じる所属感覚であるが、政治共同体の成員である市民としては公的な領域における所属感覚（ローカリズム）も重要である。これらは必ずしも一致するわけではなく時として対立する場合もある。

第2項 研究の目的と方法

平成30年告示の高等学校新学習指導要領の「公共」の目標（2）において、次の記述がある。

現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

この中の、「多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う」ことは、本研究の目的である、「討論において、新しく、より具体的かつ建設的で、また他者に対して説得力がある意見

を、より多く表現できる力」、すなわち、代案提示力の育成と重なる点がある。

本單元では、「多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う」ために、グローバリズム、ローカリズムに見られる、「包摂あるいは権利からの排除」という観点から、日本で深刻化している看護分野・介護分野の問題（ローカリズム）と外国人労働者受け入れに関する問題（グローバリズム）との葛藤から見られる行政の在り方について取りあげ、授業開発の手がかりとする。

第3項 授業実践

- (1) 単元名 国際社会と人類の課題
- (2) 内容 「外国人労働者問題－医療・介護分野におけるローカリズムとグローバリズム－」
- (3) 授業の目標

技能としての代案提示力の育成することである。最終的な目的は合理的意思決定ではなく、ある問題に関して自分なりに思考・判断し、それをわかりやすく他者に説明する技能、すなわち、説得力のある代案提示力を育成することである。

- (4) 教材「労働市場としての看護・介護現場」（表4-5）

ローカリズム（包摂）：被雇用者（失業者）対策としての職員の採用

グローバリズム（排除）：国際的・国内的要請（市場）として職員の採用

共通項目（キーワード）：高齢化社会、介護・医療、資格取得、労働環境、労働市場

- (5) 授業における中心概念
 - ① グローバリズム・ナショナリズム・ローカリズム・アイデンティティ
 - ② 本單元におけるテーマ：医療（看護）分野・介護分野に焦点をあてた外国人労働者問題
 - ③ 研究全体の中で取り上げたい中心概念：「排除と包摂」・「流動と変容」・「公と私」
- (6) テーマに関する具体的な学習内容
 - ① ローカリズム（包摂）：雇用者（失業者）対策としての介護職員の採用
 - ② グローバリズム（排除）：国際的・国内的要請（市場）としての看護師の採用
 - ③ 共通項目（キーワード）：高齢化社会、介護・医療、外国人労働者、労働環境、労働市場、EPA（経済連携協定）
- (7) 語句の定義
 - ① グローバリズム：新自由主義、地球全体主義
 - ② ナショナリズム：共同体主義、国家主義、保守主義

- ③ ローカリズム：地域社会
- ④ アイデンティティ：所属感覚

「自我によって統合されたパーソナリティが社会および文化とどのように相互作用しあっているのかを説明する言葉。訳語としては、同一性、主体性、自己確認、帰属意識、居場所などがある。」(『新社会学辞典』(初版)より)

(8) 学習の流れ(全5時)

- 第1時 介護に関する外国人労働者問題(政策)について理解する。
- 第2時 看護に関する国内の労働者問題(政策)について理解する。
- 第3時 介護・看護に関する政策を批判し代案を提示する。(本時)
- 第4時 日本社会全体の外国人労働者問題について理解する。
- 第5時 外国人労働者問題全体に関する政策を批判し代案を提示する。

(9) 学習方法

- ① 講義による内容理解(理解)
- ② ワークシートによる活動(思考・判断)
- ③ 発表(表現)

(10) 指導の目標

- ① 各時の内容については、生徒が理解しやすいようにできる限り平易な表現を心がけるとともに、生徒に発表させることによって知識理解の確認を適宜行なう・グループ別討議を行うことで、学習内容の確認・定着を図るとともに、現代の政策に対して批判的な視点から考察させ、代案提示力の育成を目指す。
- ② 政策の批判、自己決定、政策の改定をグループおよび個人で行うことによって、社会の形成とそれに対する参画・代案提示をできるように指導を図る。

第4章 生徒の代案提示力を育成するための授業実践2

学習指導案

時		学習活動	予想される生徒の反応	指導上の留意点
1	導入 10分	①前時までに学習した介護に関する内容を復習する。 ②前時までに学習した医療（看護）に関する内容を復習する。	①②ワークシートに記入した内容を振り返る。	
2	展開 25分	③中心的発問 「現在の介護・看護に関する国内政策と対外 国人労働者政策を批判し代案を提示せよ」 ・介護に関する諸問題についてグループで討論し、政策批判を行なう。 ・看護に関する諸問題についてグループで討論し、政策批判を行なう。	・雇用（失業）対策・難易度の低い資格取得と緩やかな雇用条件・低賃金・重労働・高い離職率・虐待問題などの実態などについて討論・政策批判を行なう。 ・雇用（失業）対策・難易度の低い資格取得と緩やかな雇用条件・低賃金・重労働・高い離職率・虐待問題などの実態などについて討論・政策批判を行なう。 ・難易度の高い資格取得・厳しい雇用条件・賃金は比較的安定・重労働・国民の精神的違和感（偏見，不十分な周知・浸透），職場でのコミュニケーションなどの実態について討論・政策批判を行なう。	【参考資料：ハローワークの求人票】 【参考：各種報道記事】 ・巡視を行ない，質問などに答え，適宜指導する。 ・「労働市場としての看護・介護」を参考にさせる（表4-3）
3	まとめ 15分	・政策に関する代案提示を行なう。 ・今後の内容を予告する。	・4～6人程度指名して，政策の代案を披露し相互に批判する。	・その他の外国人労働者の問題として，研修・実習生制度，長時間勤務，低賃金 定住（閉鎖的コミュニティの形成），教育問題などをあげる。

表 4-3 「労働市場としての看護・介護現場」 ※上段がメリット，下段がデメリット

	介護（国内労働者）	看護（外国人労働者）
緩やかな規制 （包摂）	経験・資格不問→雇用対策	外国人看護師の定住による職務軽減
	不均質なケア（→虐待行為？）	外国人看護師に対する違和感など
厳しい規制 （排除）	高資格取得者の質の高いケア	日本人看護師の職場確保
	離職率の向上・人材不足へ	優秀な外国人看護師の来日困難

第4項 成果と課題

授業案に基づいて実践を行った。以下はその具体的な内容である。

（1）授業実践

教師の動き	質問・発問	生徒の動き
<p>〈導入：前時までの振り返り〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護問題と看護問題について共通点と相違点を確認する。 ・共通点：高齢社会が背景 ・重労働である，など ・相違点：看護師は国家資格が必要 ・介護師は必ずしも資格を要しない場合がある，など <p>〈展開〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「経済連携協定（TPP）に基づく受け入れに係る国家試験合格者・合格率の推移」を出すように指示する。 ・「経済連携協定」について，説明する。 *日本がフィリピン・インドネシア・ベトナムと協定を結ぶことによって，日本は貿易を拡大し，フィリピンなどは，見返りとして，介護師とか看護師などの労働者を日本に受け入れてほしいという内容である。 ・資料の説明を行う。 *上の表が平成20年度看護師（国家試験），下の表が介護師（国家試験） <p>（巡視をしながら生徒を当てて解答を求める。ワークシートに記入するように指示）</p>	<p>Q. 看護問題と介護問題，どういうところが違っていましたか？（生徒を指名して答えさせる）</p>	<p>A. 「・・・」（うまく答えられない）</p> <p>A. 「資格・・・」</p> <p>・プリントを出す</p>

第4章 生徒の代案提示力を育成するための授業実践2

<p>*両国の介護師試験の受験者数には大差が無いことに気付かせる</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度には一旦上がっているが、25年度は36.3%でおおよそ現状維持である。しかし、受験者数・合格者数は、日本人を含めた全体の割合としては、非常に低いことに気付かせる。 <p>*これらの内容をワークシートに記入するように指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今までの話をまとめる意味で、「外国人労働者問題における看護師・介護士についての政策はどのようなものかについて各自でワークシートに記入するように指示する。 周囲で机を合わせて4人～5人のグループを作るように指示し、プリントを配布する。 (数分経過後)どのように考えればわかりにくい生徒のために以下の板書を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>政府（厚生労働省）の政策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛成，規制強化にすべき →では，どうする？（どこをどのようにすべき） ・反対，規制緩和すべき →では，どうする？ （どこをどのようにすべき） </div> <ul style="list-style-type: none"> 規制強化，規制緩和いずれかの立場においても，グループごとにまとめる必要はないと伝える。 規制とは，外国人の受け入れに関する制限（条件）のことであると伝える。 賛成派（規制強化），反対派（規制緩和）それぞれ場所を移動するように指示する。 	<p>Q. インドネシア，フィリピンそれぞれの介護師（国家試験）受験者数はどうなっているか。</p> <p>Q.（日本の）介護の国家資格の合格者数・合格率は受け入れが始まった平成23年度の受験者数は両国合わせて95人に対して（日本人を含めた）合格率は全体の何%か。</p> <p>Q.「政府（厚生労働省）どのような政策をとっているか」</p> <p>Q. 政府（厚生労働省）政策に対する賛成・反対，あるいはもっと強化すべきか，もっと緩和すべきかについてワークシートの空欄に政府（厚生労働省）の政策についての代案を考えて記入</p>	<p>A.「受験者数はそんなにかわらない」</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートに記入 <p>A.「37.9%」</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自ワークシートに記入。 <p>A.「外国人の割合がまだまだ低く，外国人を取り入れ（受け入れよう）としても・・・，全然合格させる取り組みや手立てが全然できていない。」</p> <p>A.「政府（厚生労働省）は外国人看護師・介護士の受け入れには消極的である。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自ワークシートに記入。 ワークシートを配布。 グループで話し合う <p>男子A「外国人労働者が必要だという割には試験のシステムが難しい」</p> <p>男子B「僕は日本人に介護してもらいたい」</p> <p>男子A「仕事内容としてコミュニケーション能力が求められるから倍率が高いのでは」</p> <p>女子B「日本人でも年寄りの言っていることがわからない」</p>
--	---	--

<p>板書</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>外国人労働者（看護師・介護士） 政策（規制）について</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>強化 入って きにくくする</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>緩和 入ってき易く する</p> </td> </tr> </table> </div> <p>・それぞれのグループで再度、話し合い、具体的にどこをどうするか、代案を考えさせる。</p> <p>板書</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>受け入れる メリット</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>受け入れない メリット</p> </td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>受け入れる デメリット</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p>受け入れない デメリット</p> </td> </tr> </table> </div> <p>・各グループから1名ほどを指名し、話し合った内容を板書させる。</p>	<p>強化 入って きにくくする</p>	<p>緩和 入ってき易く する</p>	<p>受け入れる メリット</p>	<p>受け入れない メリット</p>	<p>受け入れる デメリット</p>	<p>受け入れない デメリット</p>	<p>しなさい。賛成でも反対、どちらの立場でも構いません。</p> <p>Q. 受け入れ規制強化派は？</p> <p>Q. 受け入れ規制緩和派は？</p>	<p>・「規制って何？」</p> <p>・それぞれ該当者は挙手</p> <p>【規制強化派】</p> <p>①あなたは、カタコトの外国人に看護、介護をされたいですか？</p> <p>②（日本在住の）看護、介護職員に対する福利厚生の充実（を図る）</p> <p>【規制緩和派】</p> <p>① 滞在期間を延ばす</p> <p>② 外国人も介護士の資格を不問にする</p> <p>③ 介護の国家試験をなくす、もしくはハードルを低くする</p> <p>④ 語学勉強を日本でできようにする。</p>
<p>強化 入って きにくくする</p>	<p>緩和 入ってき易く する</p>							
<p>受け入れる メリット</p>	<p>受け入れない メリット</p>							
<p>受け入れる デメリット</p>	<p>受け入れない デメリット</p>							

「公民教育学会科研プロジェクト授業案（品川作成）」を加筆修正。

(2) 授業における生徒の発言内容の振り返り

- ① 規制強化派から読み取れること
 - (ア) 医療・福祉における潜在的な抵抗感
 - (イ) 外国人労働者に対する差別的意識

- (ウ) 外国人労働者の受け入れに伴う就職機会の減少のおそれから
(これらはいずれも当事者的なものではあるが同時に情意的なものである)
- ② 規制緩和派から読み取れること
 - (ア) 高齢化社会における積極的解決策
 - (イ) 需要と供給（外国人労働者）のバランス
 - (ウ) 高齢先進国としての対応
 - (エ) 日本社会への理解